



落語家

三遊亭 遊吉

國學院大學の講師も勤めている。

昭和57年3代目三遊亭遊三入門、よく知られた古典落語を現代に分かりやすく演じる高座に定評がある。

## なぜ落語は長きに渡り愛されるのか

人々は昔から難しい話を聞くより面白い話を聞く方が良かったのでしょね。大元は御伽集です。室町の末期から江戸にかかってくるでしょう。最初は侍の武勇伝を殿様に伝える、という形だったところから江戸時代の中ごろに今のような形になったと言われています。

侍がお伽集になると講談、町人がなると落語、となったと言われています。

平和になるとこういうのがはやるんですよ。



## 落語初心者に伝えるときしたら

通用しない落語は自然淘汰さ

れ、今の落語は現代の人にも分かるようになっていきます。昔の芝居がベースだとその芝居を知っている人より楽しめるでしょうね。古典落語というのはだいたい色々な噺をパロディにしています。元の噺や意味合いを知っていると楽しいと思います。他にも落語家は墨汁の「墨を磨る」を縁起良く「墨を当てる」といいます。皆さんの身近な存在である居酒屋でもスルメ、ではなくあたりめ、と書いてあるところが多いですよ。このようになちよとしたことを知っているといいですよ。でも知らなくても落語は楽しめますよ。わたしはごく単純に楽しんでもらえるようにしたいです。

何でもネタにできる、だから休みの日は、色々なものを見ます。テレビでも新聞でも散歩でも、落語家として、多くの人に楽しんでもらうためにはすべてが情報源になります。